



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月17日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル

コード番号 8275 URL <https://www.forval.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 将典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二 TEL 03-3498-1541

四半期報告書提出予定日 2020年8月17日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,995	△6.7	282	△42.6	240	△55.9	84	△85.8
2020年3月期第1四半期	11,789	△8.5	492	△11.7	545	△7.9	597	48.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 183百万円 (△75.9%) 2020年3月期第1四半期 761百万円 (51.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	3.37	3.37
2020年3月期第1四半期	23.82	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	27,839	10,891	37.2
2020年3月期	29,103	11,400	37.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 10,343百万円 2020年3月期 10,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	0.00	ー	26.00	26.00
2021年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年3月期 (予想)	ー	0.00	ー	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

次期の見通しにつきましては、国内外における新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明であり、現段階では業績予想の合理的な算定が困難であることから、未定といたします。

なお、合理的な予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	27,732,622株	2020年3月期	27,732,622株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,574,795株	2020年3月期	2,574,795株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	25,157,827株	2020年3月期1Q	25,098,171株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響で輸出や生産が大幅に減少し、企業収益の悪化を受けて設備投資や雇用・所得環境にマイナスの影響が見られました。また、個人消費も外食や旅行等を中心に大幅に減少する中で徐々に回復していましたが、感染症の再流行の兆しを受けて不透明な状況が続いています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT、AIなどを活用したサービスが拡大しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育）」、「企業のライフサイクルに対応した経営コンサルティングサービス（起業・事業承継）」の5分野において他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

このような状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績業績は以下のようになりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、感染拡大防止策を講じたうえで影響を受けられているお客様への経営支援体制には万全を期す一方で、感染拡大による営業自粛の拡大や、従業員の健康・安全および稼働状況を考慮し、当社の全従業員の約18%にあたる179名を含め当社グループの一部の従業員において休業を実施した結果、売上高は前年同期に比べ794百万円減少し、10,995百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ513百万円減少（前年同期比11.5%減）する中で、販売費及び一般管理費は経費の削減に取り組んだことで前年同期に比べ303百万円減少（前年同期比7.7%減）した結果、営業利益は282百万円（前年同期比42.6%減）、経常利益は240百万円（前年同期比55.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84百万円（前年同期比85.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

「アイコンサービス」が堅調に推移するもののサーバー等の機器販売が減少した結果、売上高は4,433百万円（前年同期比11.7%減）、セグメント利益は67百万円（前年同期比68.7%減）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

新電力サービスが増加する一方で、光回線サービスやISPが減少した結果、売上高は5,056百万円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益は193百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

産業用太陽光発電システムなどが減少した結果、売上高は1,153百万円（前年同期比26.8%減）、セグメント損失は3百万円（前年同期は44百万円の利益）となりました。

<その他事業グループ>

セミナー事業や通信教育事業が減少した結果、売上高は352百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は33百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,264百万円減少し27,839百万円となりました。

流動資産は18,706百万円となり、前連結会計年度末比2,135百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金の減少1,432百万円、受取手形及び売掛金の減少1,058百万円によるものです。

固定資産は9,133百万円となり、前連結会計年度末比871百万円の増加となりました。これは主として有形固定資産の増加186百万円、無形固定資産の増加91百万円、投資その他の資産の増加593百万円によるものです。

流動負債は14,013百万円となり、前連結会計年度末比1,080百万円の減少となりました。これは主として短期借入金の増加486百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少737百万円、賞与引当金の減少572百万円によるものです。

固定負債は2,935百万円となり、前連結会計年度末比325百万円の増加となりました。これは主として長期前受金の増加110百万円、長期借入金の増加85百万円、退職給付に係る負債の増加53百万円によるものです。

純資産は10,891百万円となり、前連結会計年度末比508百万円の減少となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益84百万円に対し、配当金の支払い654百万円により株主資本が557百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

次期の見通しにつきましては、国内外における新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明であり、現段階では業績予想の合理的な算定が困難であることから、未定といたします。

なお、合理的な予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,742,855	8,309,903
受取手形及び売掛金	6,529,819	5,470,957
有価証券	100,242	201,131
商品及び製品	357,171	505,527
仕掛品	73,040	72,565
原材料及び貯蔵品	216,686	280,085
未収入金	2,322,829	2,361,993
その他	1,675,117	1,729,201
貸倒引当金	△175,602	△224,873
流動資産合計	20,842,160	18,706,492
固定資産		
有形固定資産	785,461	971,798
無形固定資産		
のれん	488,483	590,901
その他	628,995	618,455
無形固定資産合計	1,117,478	1,209,357
投資その他の資産		
投資有価証券	1,695,680	2,434,976
破産更生債権等	2,867,561	2,948,110
繰延税金資産	2,246,386	2,152,064
その他	2,386,766	2,330,592
貸倒引当金	△2,837,512	△2,913,559
投資その他の資産合計	6,358,882	6,952,185
固定資産合計	8,261,822	9,133,342
資産合計	29,103,983	27,839,834
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,215,294	4,478,195
短期借入金	3,956,000	4,442,000
未払金	2,683,402	2,494,761
未払法人税等	640,371	368,454
賞与引当金	724,335	151,377
役員賞与引当金	141,813	21,013
返品調整引当金	11,210	6,320
その他	1,721,779	2,051,101
流動負債合計	15,094,207	14,013,225
固定負債		
長期借入金	90,000	175,000
退職給付に係る負債	2,454,502	2,507,641
繰延税金負債	27,810	28,210
持分法適用に伴う負債	15,372	18,570
その他	21,934	206,025
固定負債合計	2,609,619	2,935,448
負債合計	17,703,826	16,948,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,311,603	2,323,319
利益剰余金	5,578,825	5,009,553
自己株式	△1,520,629	△1,520,629
株主資本合計	10,520,094	9,962,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	367,308	432,988
為替換算調整勘定	△30,664	△30,660
退職給付に係る調整累計額	△26,801	△21,473
その他の包括利益累計額合計	309,842	380,854
新株予約権	48,728	44,507
非支配株主持分	521,490	503,260
純資産合計	11,400,156	10,891,160
負債純資産合計	29,103,983	27,839,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,789,399	10,995,384
売上原価	7,342,018	7,061,365
売上総利益	4,447,381	3,934,019
販売費及び一般管理費	3,954,858	3,651,320
営業利益	492,522	282,699
営業外収益		
受取利息	2,027	1,702
受取配当金	18,942	9,729
持分法による投資利益	7,563	8,443
違約金収入	485	27,447
その他	54,732	14,218
営業外収益合計	83,750	61,541
営業外費用		
支払利息	7,510	7,849
貸倒引当金繰入額	9,585	91,557
その他	13,956	4,262
営業外費用合計	31,052	103,668
経常利益	545,220	240,571
特別利益		
固定資産売却益	27	—
関係会社株式売却益	349,092	—
特別利益合計	349,120	—
特別損失		
固定資産除売却損	1,690	146
投資有価証券評価損	1,134	—
減損損失	145	—
特別損失合計	2,970	146
税金等調整前四半期純利益	891,370	240,425
法人税、住民税及び事業税	73,022	62,453
法人税等調整額	185,302	65,335
法人税等合計	258,324	127,788
四半期純利益	633,046	112,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	35,245	27,806
親会社株主に帰属する四半期純利益	597,800	84,830

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	633,046	112,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133,110	65,680
退職給付に係る調整額	4,947	5,327
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,875	4
その他の包括利益合計	128,182	71,011
四半期包括利益	761,229	183,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	725,983	155,842
非支配株主に係る四半期包括利益	35,245	27,806

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,019,510	4,827,419	1,575,150	11,422,080	367,318	11,789,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	128,029	117,529	8,646	254,205	17,061	271,267
計	5,147,539	4,944,949	1,583,797	11,676,286	384,380	12,060,666
セグメント利益	214,871	197,349	44,203	456,424	40,225	496,650

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	456,424
「その他」の区分の利益	40,225
セグメント間取引消去	294
のれん償却額	△4,422
四半期連結損益計算書の営業利益	492,522

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。
 なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては145千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル テイング ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,433,177	5,056,687	1,153,447	10,643,312	352,072	10,995,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117,129	110,146	1,368	228,643	15,214	243,858
計	4,550,307	5,166,833	1,154,815	10,871,955	367,287	11,239,243
セグメント利益又は 損失(△)	67,231	193,179	△3,794	256,617	33,925	290,542

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	256,617
「その他」の区分の利益	33,925
セグメント間取引消去	1,578
のれん償却額	△9,422
四半期連結損益計算書の営業利益	282,699

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な変動はありません。

(重要な後発事象)

(株式交換によるカエルネットワークス(株)の完全子会社化)

当社は、2020年6月9日開催の取締役会において、2020年7月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社とし、2020年5月29日に発行済株式の60%の株式を取得して当社の子会社になったカエルネットワークス株式会社(以下、「カエルネットワークス」という。)を株式交換完全子会社とする株式交換(以下、「本株式交換」という。)を実施することを決議し、2020年7月1日付で株式交換を実施いたしました。

1. 本株式交換による完全子会社化の目的

カエルネットワークスは、コンピュータネットワークシステムの販売、構築、導入、監視・管理などの保守サービスの提供のほか、ネットワークデザイン、コンサルテーションの実施、システムの構築に関わる企画、開発の受託、ネットワークテクノロジーに関する教育業務などを行っており、金融機関ネットワーク、官公庁系ネットワークからデータセンター構築まで豊富な経験を有する企業です。フォーバルグループの既存のネットワークの内製化に取り組むほか、クライアント先の中小・中堅企業のネットワークに関する企画・設計・構築などの能力強化を図るとともに、ネットワークエンジニアの派遣業務に関するグループシナジーも期待できると考え、より強固な関係を構築すべく完全子会社化することを決定いたしました。

2. 本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

本株式交換取締役会決議日(当社) 2020年6月9日

本株式交換臨時株主総会決議日(カエルネットワークス) 2020年6月9日

本株式交換契約締結日 2020年6月9日

本株式交換の効力発生日 2020年7月1日

(注) 当社は、会社法第796条第2項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、株主総会の承認を受けずに行っております。

(2) 本株式交換の方式

本株式交換は、当社を株式交換完全親会社とし、カエルネットワークスを株式交換完全子会社とする株式交換となります。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

本株式交換においては、当社は、本株式交換により当社がカエルネットワークスの発行済株式の全部を取得する時点の直前時に、カエルネットワークスの株主名簿に記載又は記録されたカエルネットワークスの株主のうち当社を除く株主に対し、カエルネットワークスの普通株式に代わり、その所有するカエルネットワークス普通株式の数に、以下の算式により算出される株式交換比率を乗じて得た数の当社の普通株式を交付しました。

	フォーバル (株式交換完全親会社)	カエルネットワークス (株式交換完全子会社)
株式交換に係る割当ての内容	900	1
株式交換により交付する株式数	フォーバルの普通株式：360,000株	

(注1) 株式の割当比率

カエルネットワークスの普通株式1株につき、当社の普通株式900株を割当て交付します。ただし、効力発生日(2020年7月1日)の直前時点において当社が保有していたカエルネットワークス普通株式については、本株式交換による株式の割当て交付は行っておりません。

(注2) 本株式交換により交付する当社株式の数

当社株式の数：360,000株

当社は、本株式交換に際して、本株式交換によりカエルネットワークスの発行済株式の全部を取得する時点の直前時におけるカエルネットワークスの株主に対し、その保有するカエルネットワークス株式に代えて、本株式交換比率に基づいて算出した当社株式を割当て交付しております。当社は、本株式交換により交付する株式として、その保有する自己株式を充当しており、本株式交換における割当てに際して新たな株式の発行はしておりません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠

当社の株式価値については、当社が東京証券取引所に上場していることから、市場価格を参考に算定いたしました。具体的には、2020年5月31日を評価基準日とし、東京証券取引所における評価基準日以前2ヶ月の終値平均株価を算定の基礎として行った結果、1株当たりの価額について1,112円を採用いたしました。

これに対し、カエルネットワークスの株式価値については、本株式交換に用いられる株式交換比率の検討に際し、その公平性・妥当性を確保するため、当社およびカエルネットワークスから独立した第三者機関である株式会社青山トラスト会計社（以下、「青山トラスト会計社」といいます。）に、カエルネットワークスの株式価値の算定を依頼し、カエルネットワークスの財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、本株式交換の当事者間で慎重に協議・交渉を重ねました。その結果、当社は本株式交換についてカエルネットワークス普通株式の1株当たりの価額を1,000,000円とすることに決定いたしました。

なお、青山トラスト会計社は、カエルネットワークスの株式価値の算定に際して、将来の事業活動の状況の評価に反映するため、ディスカウント・キャッシュ・フロー法および類似上場会社方を採用して株式価値の算定をしております。

以上の算定結果を踏まえ、当社は本株式交換比率について以下の算式で算定し、カエルネットワークスと交渉を行った結果、上記2.（3）記載のとおり、カエルネットワークス株式1株に対して、当社株式900株を割当てることと決定いたしました。

本株式交換比率＝カエルネットワークスの株式価値（1株当たりの価額1,000,000円）／フォーバルの株式価値
（1株当たりの価額1,112円）

（注）株式交換比率は小数点以下を切上げしております。

なお、株式交換比率の算定の前提として、当社及びカエルネットワークスが大幅な増減益になることや資産・負債の金額が直近の財務諸表と比べて大きく異なることなどは見込んでおりません。

4. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号2019年1月16日）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。